

# 平野ヶ丘

多治見市立養正小学校

校報『平野ヶ丘』

令和5年度 学校報 第7号  
令和5年9月29日(金)発行  
「元気が生まれる養正小学校」

## 心根の優しい子

校長 高橋 光弘

この9月も、大変暑い日が続きました。さわやかな秋の到来を待ち遠しく思います。学校では、新型コロナ等による発熱により欠席する児童が連日複数名ありますが、運動会に向けて元気に頑張っています。

さて、今回の学校報では、本校6年生が4月に実施した全国学力・学習状況調査の『児童質問紙』の結果を基に感じたことをお伝えしたいと思います。

- ① 人が困っているときは、進んで助けていますか
- ② いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
- ③ 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか
- ④ 読書は好きですか
- ⑤ 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

質問は全部で60項目程ありました。上記の5つは岐阜県や全国よりも大きくポイントが高い結果になった項目です。私は、特に①②③のポイントが高い結果になったことを誇りに思いました。これら3つの項目には深いつながりがあると考えます。率直に、心根の優しい子が育っていることを実感し、心が元気になりました。正義感があり、人に優しく、社会貢献ができる人物像が思い浮かびます。また、④の読書については、本校がこれまでも大事にしてきた活動です。育友会の皆様にも読み聞かせをしていただいています。こうした継続的な取組が結果に反映しているのだと思います。

子どもたちは、学校だけでなく家庭や地域の中で日々成長しています。これからも、心根の優しい子を皆さんと一緒に育てていきたいと願っています。

## 運動会に向けてひたむきに取り組む子どもたち

9月13日の朝、結団式を行いました。赤、白の応援団が運動場に響き渡るぐらいの声を出して、自分の思いを団員に伝えました。団員は、一生懸命に頑張っている応援団に大きな拍手を送りました。こうして、全校のリーダーとしての活動をスタートしました。22日には、各学級の教室に行って、応援の歌の練習をリードしました。このような具体的な活動を通して、リーダーとフォロワーの良好な関係を学んでいくのだと改めて思いました。「下級生のみんなが協力してくれてうれしいな。」と、やりがいを実感できるようにと願っています。そして、「自分も高学年になったら応援団になりたいな。」と憧れを抱く下級生が出てくることを期待しています。10月14日の運動会には、子どもたちの応援をよろしくお願いします。

